

(一社) 日本印刷学会 第14回紙メディアシンポジウム

「本当に紙メディアでなければならないのか？」

～紙メディア・電子メディア・周辺技術の独自進化と融合の中で、そのポテンシャルを探る～

日本印刷学会 紙メディア研究委員会では情報メディアとしての「紙」の役割について、多面的にその価値を見直すと共に将来展望を見据えて参りました。今回は、デジタルが優勢になりつつある時代の大きな転換点において紙メディアの歴史的な役割を振り返ると共に、紙メディアの将来をデジタルと対比しながらじっくりと考える目的でユニークなシンポジウムを企画いたしました。

紙メディアと関連する現場の第一線で取り組んでおられる方々をご講師として迎え、最新の情報を交えて講演頂く予定です。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日時: 2018年2月9日(金) 10:00～16:40 (懇親会 希望者のみ 16:50～18:00)

会場: 日本印刷会館 2階会議室 東京都中央区新富 1-16-8【裏面に案内図】

(東京メトロ有楽町線新富町下車5番出口徒歩3分; 日比谷線八丁堀駅A3出口徒歩5分; 築地駅4番出口徒歩5分)

主催: (一社) 日本印刷学会 紙メディア研究委員会

協賛: 紙パルプ技術協会、(一社) 繊維学会、(一社) 日本木材学会、(一社) 日本雑誌協会、(一社) 日本画像学会、(一社) 日本写真学会、(一社) 画像電子学会、(公社) 高分子学会、日本出版学会

プログラム

9:30～ 受付開始

10:00 - 10:05 開会の辞

10:05 - 10:55 1. 近代化の歴史から振り返る紙メディアの存在理由とデジタル社会での行方

人間との強い親和性のゆえに紙メディアは日本社会の近代化の過程で学校教育、ジャーナリズム、通貨制度などにおいて重要な役割を果たしてきた。それでは今後のデジタル社会においても紙メディアは稀有な認知科学的優位性を維持し存在し続けられるのだろうか？

東京大学 名誉教授 尾鍋 史彦

10:55 - 11:45 2. 大学等におけるデジタル教科書の活用事例：その有効性と紙との共存

電子書籍市場が拡大するなか、教科書・教材の電子化・教育利用（デジタル教科書）においても、2020年をメドに導入（小中高）に向けた計画が進んでいる。本発表では、大学でのデジタル教科書や教材の活用事例を中心に紹介する他、教育・学習にとっての、デジタル、紙の有効性につき実証実験等の紹介や検証等について紹介する。

大日本印刷株式会社 honto ビジネス本部 丸善 CHI 連携チーム サプリダー 盛田 宏久

－ 昼食休憩 (11:45 - 13:00) －

13:00 - 13:50 3. デジタル印刷時代のセキュリティ・デザイン

デジタル印刷機の普及により、セキュリティ印刷物のあり方も大きく変わろうとしている。そこで、進歩著しいデジタル・イメージング技術に着目し、デジタル印刷機の基本機能のみで印刷物の偽造防止技術の目的を果たすという、新時代のセキュリティ・デザインのコンセプトを見出した。

独立行政法人国立印刷局 研究所 製品技術研究部 主任研究員 木内 正人

13:50 - 14:40 4. “CubicMemory”：多階層化3次元構造による大容量データ格納技術と今後の活用方法

CubicMemory は紙等に印刷可能な大容量データ格納技術である。今回の発表では、本技術の特徴と課題点、これまでの事例、IoTを加速させる今後の活用方法等を紹介する。

エッジラボ株式会社 取締役 COO 萬治 邦行

- 休憩 (14:40 - 14:55) -

14:55 - 15:45 **5. リン酸エステル化反応を用いたセルロースナノファイバーシートの開発と情報メディアとしての応用可能性**

パルプをナノオーダーにまで微細化したセルロースナノファイバー（CNF）は高透明度、耐熱寸法安定性、ガスバリア性などの優れた性質を持ち、様々な分野への適用が期待されている。本発表では、当社が開発したリン酸エステル化CNFと、それを材料としたCNFシートについて紹介する。

王子ホールディングス株式会社 CNF 創造センター 研究員 山中 実央

15:45 - 16:35 **6. ソニーはなぜデジタルペーパーを作ったのか？**

2017年6月にデジタルペーパーの二世代目となるDPT-RP1を発売した。PDFのドキュメントファイルを読む・書くというコンセプトはそのままだが、デザイン・プラットフォームを一新生まれ変わった。今回なぜデジタルペーパーをソニーが世に送り出したか、その想いや製品の特長についてお伝えする。

ソニービジネスソリューション株式会社 デジタルペーパー事業推進室 シニアセールスマネジャー 泉谷 孝司

16:35 - 16:40 閉会の辞

16:50 - 18:00 懇親会（希望者） ※簡単なお食事を用意しております。

定員： 120名

参加費： 会員、賛助会社及び協賛団体所属員 = 10,000円、学生・教職員・シニア = 3,000円、会員外 = 12,000円

(参加費、懇親会費は当日、会場受付でお支払願います。)

懇親会費： 1,000円（懇親会 参加希望者のみ）

問合せ先： (一社) 日本印刷学会 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館内 電話：03-3551-1808

申込方法： ホームページ上のフォームからお申し込み願います。 HP: <http://www.jspst.org/>

【日本印刷会館ご案内】

